

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名		部名	産業建設部
	20002	JR加太駅舎改修事業		課名	産業振興課 商工業・地域交通G
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		財務科目	01:一般会計
	基本施策	05:公共交通網の充実		款	07:商工費
	施策の方向	02:公共交通機関の利便性向上と利用促進		項	02:開発費
	戦略プロジェクト	-		目	02:軌道交通近代化促進費
事業予定期間		R 2 ~ R 3 年度	主な根拠法令要綱等	鉄道事業法、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、バリアフリー法	

目的・概要	対象	市民及び鉄道利用者			
	目的	JR加太駅舎を改修し、鉄道利用者等の利便性を向上させるとともに、歴史観光資源や地域のにぎわい交流・情報発信の場として活用する地域活性化拠点を整備する。			
概要	概要	西日本旅客鉄道株式会社から既存のJR加太駅舎の無償譲渡を受け、地域活性化拠点として改修するため、実施設計及び改修工事(外構・耐震補強を含む)等を行う。また、施設の管理・運営について、西日本旅客鉄道株式会社及び加太地区まちづくり協議会等と調整を進める。			

令和元年度			令和2年度	令和3年度
年度計画			○加太駅舎改修 ・実施設計 ○管理体制の決定	○加太駅舎改修 ・改修工事 ・工事監理
			○加太駅舎改修 ・実施設計 ○加太駅舎活性化委員会及び西日本旅客鉄道株式会社との協議	
事業の計画・実績	計画額	事業費	4,900千円	37,400千円
		国庫支出金		
		県支出金		
		地方債		
		その他		
		一般財源	0千円	37,400千円
	予算額	事業費	3,669千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
		地方債		
		その他		
		一般財源	0千円	0千円
	決算額	事業費	3,574千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
		地方債		
		その他		
		一般財源	0千円	0千円
	人件費	総人件費	3,920千円	0千円
		一般職員	3,920千円	0千円
		所要人員	0.50	
		会計年度任用職員等	0千円	0千円
総コスト(+)		7,494千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	

				令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称	事業進捗状況	活動	計画値		
		JR加太駅改修事業の進捗状況	実績値		実施設計完了	工事完了
			単位			
	名称	事業進捗率	活動	計画値	11	100
		実施済み事業費 / 総事業費	実績値		11	
			単位		%	%
	名称		計画値			
			実績値			
			単位			

事業の改善	前回評価	[前回評価の対応方針の概要を記入]
	改善行動	[前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか]

評価		(判定)
事業の評価	活動	[計画どおりに実施できたか] 西日本旅客鉄道株式会社及び地元(加太駅舎活用委員会)との協議を行い、基本設計及び実施設計に反映することができた。 また、西日本旅客鉄道株式会社との協議により、機械室の間仕切りや双方の工事の日程調整など、令和3年度に改修工事がスムーズに進むよう調整を行った。 さらに、改修に係る工事費について、2分の1の国庫補助金の交付が受けられるよう亀山市歴史的風致維持向上計画(第2期)に位置付けた。
	成果	[成果は順調に上がったか] 地元(加太駅舎活用委員会)との協議を7回実施するなど、基本設計及び実施設計に反映することで、今後地元が地域活性化拠点として加太駅舎を活用していく意識が高まった。また、昭和11年に建築された加太駅舎を亀山市歴史的風致維持向上計画(第2期)の地域活性化拠点として位置づけたことにより、改修に係る工事費の2分の1について国庫補助金の交付を受けることができ、財政負担の軽減に努めることができた。
		計画どおり実施できた 十分な成果を得た

今後の対応方針	課題	[課題は何か] 利用に必要な設備等については、実施設計に反映させるために地元(加太駅舎活用委員会)と協議を行ったが、今後、改修後の管理・運営については、改めて協議を行っていく必要がある。 また、駅前広場も含めた施設の管理についても、西日本旅客鉄道(株)と協議を継続していく必要がある。
	対応	[課題に対し、どのように対応するか] 改修工事の段階から加太保育園や加太小学校の園児・児童に関わってもらうなど、加太駅舎に愛着を持ってもらう工夫を行い、地域活性化拠点として、地域住民やJR利用者に未永く利用してもらえるよう、地元との協議を継続して行っていく。
	効果	[対応することで、どのような効果が期待できるか] 加太駅舎が地域活性化拠点として地域住民やJR利用者に親しまれ、未永く利用される。
	対応時期	令和3年度
		今後の方向性 ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 廃止 ☐ その他 [その他の場合、その内容を記載]

【1次評価者】	産業建設部 産業振興課 商工業・地域交通グループリーダー 井上 和哉
【最終評価者】	産業建設部 産業振興課長 富田 真左哉

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動				A	
	成果				A	

■令和2年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		3,669 千円
内訳	令和元年度からの繰越額	千円
	令和2年度の最終予算額	3,669 千円
	令和3年度への繰越額	千円